

研究課題名「造血器疾患の臨床検体を用いた新規治療法の開発」について

はじめに

白血病などの造血器疾患に対する治療成績は改善してきているが、現状においても治療に難渋する症例も多く新規の治療法の開発が望まれます。我々の研究室では、白血病などの造血器疾患の新規治療法の開発を目的に研究しています。造血器疾患の治療法の開発においては、患者さんの細胞を用いる必要があります。具体的には試験管やマウスモデルにおける安全性や有効性の評価も重要とされています。

そこで、附属病院血液腫瘍内科で診療を行なった患者さんのうち、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析』（承認番号：27-19-0713）または『余剰検体の保存および使用に関する同意書』もしくは、『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』にご同意いただき、ご提供いただいた血液や骨髄液を用いて、新規治療法の開発を目的とした研究を計画しました。なおこの研究は、東京大学医科学研究所倫理審査委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

1. 対象となる方

東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科で造血器疾患の診療を行なった患者さんで、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析』（承認番号：27-19-0713）または『余剰検体の保存および使用に関する同意書』もしくは、『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』にご同意いただいた方

2. 研究に用いる試料・情報の種類と研究内容

研究に用いる試料・情報の種類は、研究『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析』（承認番号：27-19-0713）または『余剰検体の保存および使用に関する同意書』または『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』に基づき、凍結保存されている試料（診療上必要な検査で余った血液または骨髄液）及び診療情報です。

研究内容は、凍結保存されている臨床検体を用いて、試験管内の細胞増殖やコロニー形成能などの評価や、免疫不全マウスモデルへの異種移植での造血器疾患の体内動態などに関して評価する予定です。

3. 研究期間

2019年10月25日から2024年3月31日

4. 共同研究機関

京都大学ウイルス・再生医科学研究所がん・幹細胞シグナル分野(伊藤貴浩教授)の研究室と共同で研究開発を行っているため、研究の一部を共同研究機関である京都大学で実施することがあります。

5. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

6. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

7. お問い合わせ先

本研究についての質問やご自身やご家族のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究での試料や診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

研究責任者

東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 小沼 貴晶

〒108-8639

東京都港区白金台 4-6-1

TEL:03-3443-8111 内線 75025

FAX:03-5449-5429